

登録コード	SA628300	開講年度	2026					
授業題目	解析学特別講義				担当教員	谷内 靖		
英文授業名	Analysis special lecture I				副担当			
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・5時限		対象学年	3～4年
講義室	理学部第3講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	選択
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】		
	26Sカリ, 25Sカリ, 24Sカリ, 23Sカリ							
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の各分野における専門知識				⇔	ルベーク積分の基本的性質を理解する。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	実解析学IIに沿った演習問題を解いて発表をしてもらう。							
(5)授業のキーワード	Lebesgue積分、ルベークの収束定理、Fubiniの定理							
(6)授業計画	実解析学IIでは、次の順で講義を行う。 15回目の授業でアンケートを行う。 1. Lebesgue可測関数 1 2. Lebesgue可測関数 2 3. Lebesgue積分の定義 1 4. Lebesgue積分の定義 2 5. Lebesgue積分の定義 3 6. Fatouの捕題 7. Lebesgueの収束定理 1 8. Lebesgueの収束定理 2 9. p乗積分可能な関数 1 10. p乗積分可能な関数 2 11. Fubiniの定理 1 12. Fubiniの定理 2 13. Fubiniの定理の応用 1 14. Fubiniの定理の応用 2 15. まとめと授業のふりかえりを入力する							
(7)成績評価の方法	発表内容、出席状況を合わせて点数化し、以下の基準で評価する。							
(8)成績評価の基準	基本的な定義の理解ができていれば、「その水準にある」 参考書等の基本的な問題を解ける程度であれば、「やや上にある」 参考書等の応用問題を解ける程度であれば、「かなり上にある」 定理等の要点を自身の言葉で深く理解できていれば、「卓越している」 秀 90-100 優 80-89 良 70-79 可 60-69 不可 60未満							
(9)事前事後学習の内容								
(10)履修上の注意	「解析学特別講義」の授業は「実解析学II」の内容を理解するために行う。従って、2つの授業をあわせて受講することが望ましい。							
(11)質問,相談への対応	研究室にて、随時対応します。							
【教科書】	ルベーク積分講義（新井仁之著、日本評論社）							
【参考書】								